



受講お申し込みは
こちらから

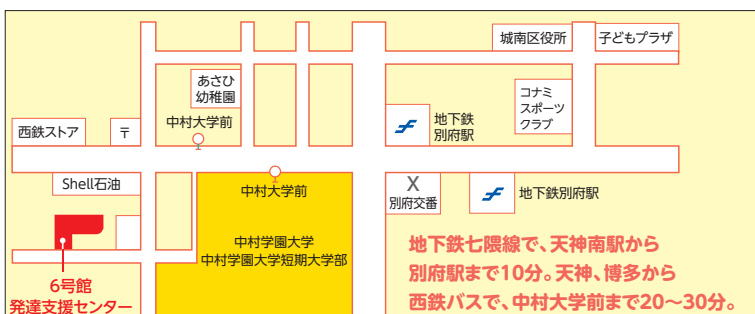
子どもの育ちをみつめる 保育・教育専門講座

日 時	①2022年1月22日(土) ②2022年2月5日(土)
場 所	①オンライン ②中村学園大学6号館6101教室 (*対面で講座が開催可能な場合)
受講について	① 無料 ②受講料: 1日につき1,000円(当日受付にて支払い)
お申し込み方法	お申込期間: ~各講座3日前まで

- いずれの講座も右上のQRコードをスマートホンカメラ等で読み取り、「申し込みフォーム」にてお申込みください。(複数講座の申し込みも可能です。)
- 当センターからの自動返信メールの受信をもって、参加申し込み完了となります。受信しない場合、入力内容に誤りがあったか、送信メールが迷惑メールに振り分けられている可能性がございます。申し込み後3日間を経過しても返信がない場合には、お手数ですがお問い合わせください。
- QRコードの読み取りができない方は、氏名、メールアドレス(PC)、郵便番号、住所、連絡先電話番号、所属を明記のうえ、下記連絡先記載の「Eメール」にてお申込みください。
- 講座①(オンライン)につきまして、当日は「ZOOM」を使用したライブ配信講座となります。参加申し込みの方へ、ZOOMのURLを送信いたします。
2日前まで送信されない場合には、申し込み時点での不備が生じている可能性がございますので、お問い合わせください。

託児のご利用について

■就学前までのお子様のための託児(ベビーシッター会社への委託)あり(先着10名)利用を希望される方は、直接下記の委託先へお電話にてお問い合わせください。
 ■委託先: テノ・サポート 〒812-0036 福岡市博多区上呉服町10-10呉服町ビジネスセンター5F TEL フリーダイヤル: 0120-8000-29
 ■申込期限: ~開催日の3日前まで(当日申込み不可) ■利用料: 無料 ■受付時間: 9時~18時(月~金)土日祝日休業 ■キャンセルの場合は、前日までに必ずご連絡ください。
 *なお、不測の事故に対応するため委託先が保険に加入しており、保険適用範囲以内では補償されます。大学は事故の責任を負いません。



中村学園大学 発達支援センター

〒814-0198 福岡市城南区別府5丁目7番1号

中村学園大学発達支援センター

TEL (092) 851-5086 Eメール hattatsu@nakamura-u.ac.jp

ホームページアドレス <https://www.nakamura-u.ac.jp/institute/development/>

地下鉄七隈線で、天神南駅から
別府駅まで10分。天神、博多から
西鉄バスで、中村大学前まで20~30分。



平成20年に発足しました中村学園大学発達支援センターは、地域の皆様方のご支援を受け、吉川センター長以下、中村学園大学教育学部、同短期大学部幼児保育学科、あさひ幼稚園、壱岐幼稚園、おひさま保育園の教職員のご協力によって、設立の基本理念に沿った活動、即ち子どもの発達に関する基礎的・臨床的研究とその成果に基づいた発達支援方法の開発に熱心に取り組んでおります。

事業の一つとして同センター発足以来続けています「子どもの育ちを見つめる“保育・教育専門講座”」につきましても、第12回目開催の運びとなりました。コロナ禍にあって子どもの安全をどう確保したか、あるいは日々、発達援助を要する子どもの育ちを支えるため援助者がどうあるべきか、皆様と一緒に考えていく内容となっております。皆様方におかれましては何卒ご聴講賜りますようお願い申し上げます。今後とも地域と共生していく中村学園大学発達支援センターをご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 学長 久保 千春

令和3年度

中村学園大学発達支援センター

「子どもの育ちを見つめる“保育・教育専門講座”」開催にあたって



幼い子どもの目は、きらきらと輝いています。毎日通っている園や学校でも、様々な活動、友達との関わりの中に、新しい発見があり、わくわくする体験があります。楽しいとき、嬉しいとき、子どものこころの窓は大きく開きます。一つ一つの体験が子どもの成長を促し、明日につながる学びとなります。もちろん、自分の思いばかりが通らないこともたくさん経験します。そのようなときにこそ、立ち止まって考える力が育ちます。中にはより多くの配慮を必要とする子どももいますが、一緒に生活する仲間とそれぞれの個性を認め合い、共に生きる力が期待されます。

保育・教育に求められるのは、そうした子どもの一人ひとりの思いを受け止め、こころに響く関わりを重ねる日々の営みです。令和3年度では、「コロナ禍における園での実践」、「発達援助に活かす役割演技体験(ロール・プレイング)」をテーマとし、参加者の皆様と、講義やワークショップを通して一緒に考えてみたいと思います。多数の方々のご参加を心よりお待ちしております。

中村学園大学発達支援センター センター長 吉川 昌子

第1回 テーマ コロナ禍における幼稚園での実践

2022年1月22日(土) オンライン開催

実践報告1 13:00~14:30 壱岐幼稚園におけるコロナ対策について

中村学園大学 教育学部 児童幼児教育学科 准教授 園入 智仁

2020年、世界中に新型コロナウイルス感染症が蔓延し、壱岐幼稚園でもその対応に追われました。幼稚園の感染予防、様々な行事の実施の可否と内容、保護者への連絡など、まさに未知との遭遇でした。2020年度の壱岐幼稚園における対応を振り返り、何を考えてどう行動したのか、また保護者にはどのような手紙を出したのか、情報を共有したいと思います。

実践報告2 14:40~16:10 壱岐幼稚園におけるコロナ対策について

中村学園大学附属壱岐幼稚園 主任 林 希

2021年度になり、引き続き壱岐幼稚園ではコロナ対策を講じています。この新しい感染症に関する情報も蓄積もありますが、それだけに1年目とは違う対応も求められています。ここでは、まず「実践報告1」の内容について今年度の対応を説明し、それに続いて参加しているみなさんの園での取り組みについての情報を共有し、コロナ対策について双方向で考える機会にしたいと思います。



第2回 テーマ (ロール・プレイング) 発達援助に活かす役割演技体験

2022年2月5日(土)

中村学園大学6号館 6101教室

13:00~14:30

講義1 発達障がい児への発達援助に活かす ロール・プレイング

東区第1障がい者基幹相談支援センター センター長 池田 顕吾

発達障がいのある子供達の集団活動や独特な内的世界の表現等についてお悩みになることはありませんでしょうか。ロール・プレイングを用い、台本のない即興で行う心理劇による発達障がい児への発達援助の実践について紹介し、発達障がい児の独特な内的世界を皆と共有することの意義等について考えます。また、保育場面で発達障がい児が場に合った行動をとることを支援するためのロールプレイング的場面操作についても紹介します。

講義2 14:40~16:10 保護者支援に活かすロール・プレイング

中村学園大学 教育学部 児童幼児教育学科 教授 吉川 昌子

保育・教育の場で特別な配慮を要する子どもの援助にあたっては、保護者との連携が重要です。まずは子どもについて、保護者の思いを丁寧に聴き取り、十分に受け止めながら、子どもの成長を促す手立て・関わりをともに考えていく姿勢が求められます。ロール・プレイングは、実際の行為や身体表現を伴う集団心理療法であり、自己理解・他者理解に役立つ技法として、教育・研修にも活用されています。本講義では、ロール・プレイングの体験を通して当事者視点を得ながら、よりよい保護者支援のあり方を一緒に考えてみたいと思います。